



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月8日

上場会社名 静甲株式会社
 コード番号 6286 URL <http://www.seiko-co.com>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 鈴木 恵子
 (氏名) 鈴木 武夫

TEL 054-366-1106

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	22,714	17.2	314	101.0	396	69.4	473	594.2
29年3月期第3四半期	19,387	4.1	156	—	233	—	68	—

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 757百万円 (194.0%) 29年3月期第3四半期 257百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	73.64	—
29年3月期第3四半期	10.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	23,126	13,918	59.6
29年3月期	20,221	13,130	64.9

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 13,787百万円 29年3月期 13,130百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
30年3月期	—	8.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,000	13.7	700	16.7	780	13.2	750	82.7	116.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名)日本機械商事株式会社(本社:大阪府大阪市中央区)

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	6,483,323 株	29年3月期	6,483,323 株
30年3月期3Q	52,529 株	29年3月期	52,529 株
30年3月期3Q	6,430,462 株	29年3月期3Q	6,430,804 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因等により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、企業収益や雇用環境の改善が続くなか、設備投資の増加など緩やかな回復基調が続いている一方で、海外政情不安、地政学的リスクの高まりにより依然として先行き不透明な状況にあります。

このような経済環境のなか、当社グループにおきましては、「顧客対応力の充実を図る」を方針として掲げ、「人づくり」「仕組みづくり」「ものづくり」を重点課題として定め、各事業において施策を推進しております。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、産業機械事業は大型機に加え小型・中型機が堅調に推移し、車両関係事業では新型車の販売が引き続き好調に推移したため、前年同期の実績を上回りました。冷間鍛造事業、電機機器事業も前年同期の実績を上回りました。

これらの結果、当社グループの売上高は、前年同期比17.2%増の227億1千4百万円となりました。利益面では、売上高の増加により、経常利益は前年同期比69.4%増の3億9千6百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、日本機械商事株式会社（本社：大阪府大阪市中央区）の連結子会社化に伴う段階取得に係る差益8千万円及び負ののれん発生益8千9百万円を特別利益に計上したため、前年同期比594.2%増の4億7千3百万円となりました。

〔産業機械事業〕

包装機械は、主要な販売先である食品やトイレタリー業界をはじめとして設備投資意欲が高まっており、大型機に加え、小型・中型機も引き続き堅調に推移いたしました。改造工事や部品は前年同期並みとなりました。これらの結果、売上高は前年同期比34.5%増の34億9千5百万円となりました。利益面では、売上高の増加に加え、受注増加に伴う工場操業度の上昇により、セグメント利益（営業利益）は前年同期比27.8%増の3億1千9百万円となりました。

〔冷間鍛造事業〕

自動車部品は、前期に受注した新規製品の増産により堅調に推移し、前年同期の実績を上回りました。電動工具部品及び事務機・産業機械部品も前年同期の実績を上回りました。これらの結果、売上高は前年同期比21.8%増の12億6千5百万円、セグメント利益（営業利益）は、前年同期比104.4%増の9千4百万円となりました。

〔電機機器事業〕

主力のF A関連機器は、自動車関連をはじめとして設備投資の需要が回復傾向にあり、堅調に推移いたしました。冷熱機器も前年同期の実績を上回りました。また、空調機器は前年同期のような大型工事件の売上がなかったため、前年同期の実績を下回りました。設備機器も前年同期の実績を下回りました。これらの結果、売上高は前年同期比5.2%増の35億6千万円、セグメント利益（営業利益）は、前年同期比7.0%増の2億3千万円となりました。

〔車両関係事業〕

新車販売は、新型インプレッサおよび新型X Vの販売が引き続き好調に推移し、登録車の販売台数が増加したことにより前年同期の実績を上回りました。中古車販売、輸入車販売及びサービス部門も堅調に推移し、前年同期の実績を上回りました。これらの結果、売上高は前年同期比16.5%増の143億4百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比39.9%増の2億6千万円となりました。

〔不動産等賃貸事業〕

売上高は、前年同期比5.5%増の8千8百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比12.7%減の1千4百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社は第1四半期連結会計期間において、持分法を適用しない関連会社であった日本機械商事株式会社（本社：大阪府大阪市中央区）の株式を追加取得したことにより、同社を連結の範囲に含めております。当該株式取得に伴う連結の範囲の変更や産業機械事業での受注の増加等を主因として、資産、負債、及び純資産がそれぞれ増加しております。

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、231億2千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ29億5百万円増加いたしました。

この内、流動資産は110億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億3千6百万円増加いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少7億8千2百万円、商品及び製品の増加8億2千万円、仕掛品の増加10億9千9百万円によるものであります。

固定資産は121億1千7百万円となり、前連結会計年度末と比べ13億6千8百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産の増加8億3千9百万円、投資有価証券の時価評価等による増加5億4千1百万円によるものであります。

負債合計は92億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億1千7百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加4億9千6百万円、長期借入金の増加7億1千2百万円によるものであります。

純資産合計は139億1千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億8千7百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の増加3億7千万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期業績予想につきましては、平成29年10月27日付当社「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました業績予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,347,361	3,356,151
受取手形及び売掛金	3,436,320	2,653,609
電子記録債権	122,212	202,452
商品及び製品	1,127,540	1,948,214
仕掛品	818,643	1,918,227
原材料及び貯蔵品	19,870	25,590
その他	612,968	917,401
貸倒引当金	△12,503	△12,755
流動資産合計	9,472,412	11,008,890
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,000,499	3,395,283
土地	3,346,094	3,346,094
その他(純額)	1,370,449	1,814,772
有形固定資産合計	7,717,044	8,556,151
無形固定資産	162,366	140,154
投資その他の資産		
投資有価証券	2,502,187	3,044,138
その他	367,335	382,322
貸倒引当金	△256	△5,130
投資その他の資産合計	2,869,265	3,421,330
固定資産合計	10,748,676	12,117,637
資産合計	20,221,088	23,126,527
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,496,210	2,993,031
短期借入金	172,512	378,278
未払法人税等	141,403	36,611
賞与引当金	420,201	233,826
製品保証引当金	51,368	63,837
資産除去債務	8,103	-
その他	1,827,809	2,509,824
流動負債合計	5,117,608	6,215,409
固定負債		
長期借入金	907,444	1,620,006
役員退職慰労引当金	148,018	239,503
退職給付に係る負債	74,701	114,903
資産除去債務	66,692	87,413
その他	775,825	930,816
固定負債合計	1,972,681	2,992,642
負債合計	7,090,289	9,208,052

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,070,576	3,071,637
利益剰余金	8,862,430	9,233,096
自己株式	△28,623	△28,623
株主資本合計	12,004,383	12,376,109
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,126,415	1,410,966
その他の包括利益累計額合計	1,126,415	1,410,966
非支配株主持分	-	131,398
純資産合計	13,130,798	13,918,475
負債純資産合計	20,221,088	23,126,527

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	19,387,188	22,714,764
売上原価	15,576,998	18,199,266
売上総利益	3,810,189	4,515,498
販売費及び一般管理費	3,653,653	4,200,915
営業利益	156,536	314,583
営業外収益		
受取利息	1,315	1,111
受取配当金	65,517	63,774
その他	46,053	61,414
営業外収益合計	112,886	126,299
営業外費用		
支払利息	5,987	7,418
売上割引	25,421	32,020
その他	4,194	5,391
営業外費用合計	35,603	44,830
経常利益	233,818	396,052
特別利益		
固定資産売却益	3,957	630
投資有価証券売却益	1	6,931
段階取得に係る差益	-	80,600
負ののれん発生益	-	89,177
特別利益合計	3,958	177,339
特別損失		
固定資産売却損	310	651
固定資産除却損	2,919	3,656
投資有価証券評価損	-	200
減損損失	96,567	2,700
損害賠償金	-	2,950
特別損失合計	99,797	10,158
税金等調整前四半期純利益	137,980	563,233
法人税等	69,760	87,967
四半期純利益	68,220	475,265
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	1,707
親会社株主に帰属する四半期純利益	68,220	473,558

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	68,220	475,265
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	189,562	282,534
その他の包括利益合計	189,562	282,534
四半期包括利益	257,783	757,800
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	257,783	758,109
非支配株主に係る四半期包括利益	-	△309

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間より、持分法を適用しない関連会社であった日本機械商事株式会社(本社:大阪府大阪市中央区)の株式を追加取得したことにより、同社を連結の範囲に含めております。

なお、みなし取得日を平成29年6月30日としているため、第1四半期連結会計期間においては貸借対照表のみを連結しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算方法

当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。